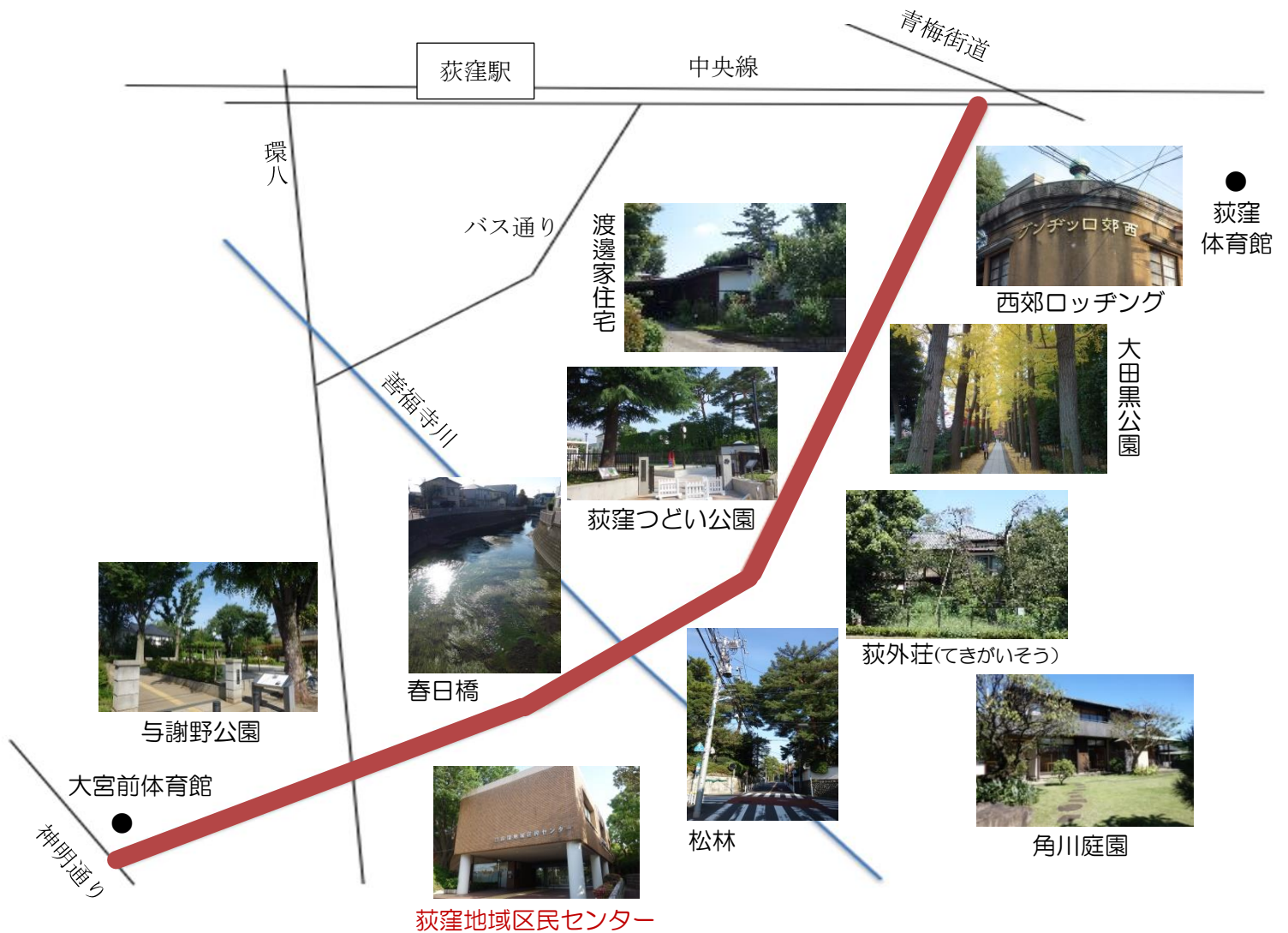




# 「荻窪の記憶」を伝える道に 愛称をつけよう！



- 募集期間 2018年6月1日～11月30日       結果発表 選定委員会を経て、2019年2月に発表
- 表彰 入選者の中から抽選で5名様に記念品を贈呈       協賛 公益社団法人荻窪法人会

## 応募用紙

愛称案と必須事項をご記入の上、この用紙を切り取って「荻窪地域区民センター」など裏面記載の場所に設置する投票箱に投函くださるか、ファックスでお送りください。

FAX : 03-3398-9128

愛称案	氏名	連絡先	年齢 (〇をつけてください)
			小学生 10代 20代
			30代 40代 50代
			60代 70代 80代以上



## キャンペーンについて

本キャンペーンは、荻窪地域区民センター協議会が設立40周年の記念事業として行うものです。

命名の対象となる当センター前を通る「道」は、国指定史跡の「荻外荘」のほか、4つの国登録有形文化財が沿道に並ぶ都内でも稀有な道です。愛称をつけることで、「荻窪の記憶」を伝えてくれる道の歴史的な価値を再認識し、緑の多い環境を守り、近年、訪問客が増えている大田黒公園や角川庭園などへの道案内に役立てたいというのが、その趣旨です。長く親しまれる愛称をつけたいと考えておりますので、奮ってご応募ください。

### 道の概要

□起点：荻窪4-28（「天沼陸橋南」の信号） 終点：南荻窪2-1（大宮前体育館角）  
全長：約1.8キロ

□沿道の国指定史跡と国登録有形文化財

- ・荻外荘「てきがいそう」（国指定史跡）…戦前、三度に渡って首相を務めた近衛文麿が、第一次内閣期（昭和12年）から自決（昭和20年）に至る期間を過ごした昭和史の舞台。
- ・西郊ロッキング（国登録有形文化財）…昭和5年から13年にかけて建てられたモダンな洋風下宿。
- ・旧大田黒家住宅洋館（同上）…昭和7年、音楽評論家の草分け大田黒元雄が書斎として建てた洋館。
- ・渡邊家住宅主屋（同上）…吉村順三設計のモダニズム建築の秀作（昭和34年創建）
- ・幻戯山房（旧角川家住宅主屋）（同上）…俳人で角川書店の創立者・角川源義が建てた近代数寄屋造りの私邸（昭和30年創建）

□沿道に住んだ文化人たち

大田黒元雄や角川源義のほか、児童文学者で自宅を開放して子ども図書館を開いた石井桃子、歌人の与謝野鉄幹・晶子夫妻、漫画家の田河水泡など、「鎌倉か、荻窪か」といわれたほど多くの文化人が沿道に住み、戦後の一時期には、荻外荘を私邸がわりにしていた吉田茂が、トレード・マークの白足袋に紋付袴姿で、この道を散歩する姿が見られたといえます。

### 投票箱設置場所

- |                     |       |                   |
|---------------------|-------|-------------------|
| ・荻窪地域区民センター         | ----- | 荻窪2丁目34-20        |
| ・本天沼区民集会所           | ----- | 本天沼2丁目12-10       |
| ・大宮前体育館             | ----- | 南荻窪2丁目1-1         |
| ・荻窪体育館              | ----- | 荻窪3丁目47-2         |
| ・郷土博物館分館            | ----- | 天沼3-23-1 天沼弁天池公園内 |
| ・ゆうゆう荻窪館            | ----- | 南荻窪2丁目25-17       |
| ・ゆうゆう荻窪東館           | ----- | 荻窪4丁目23-12        |
| ・パン工房PukuPuku（プクプク） | ----- | 南荻窪4丁目1-15        |
| ・荻窪家族レジデンス          | ----- | 荻窪4丁目24-18        |

投票箱の設置にご協力いただいた地域の皆様に感謝いたします